

モジャコ調査速報 No. 1

令和 4 年 4 月 8 日
和歌山県水産試験場

調査日：2022 年 4 月 7 日（沿岸定線調査：江須崎～潮岬沖）

調査船名：漁業調査船「きのくに」

調査海域：江須崎（2～10 マイル）～潮岬（2～10 マイル）の沿岸（沿岸定線）

・・・・・・調査結果の特徴・・・・・・

1. 調査時の黒潮は、室戸岬～潮岬で大きく離岸、大王崎沖を北上していた。
2. 調査海域の表面水温は 17～19℃台であった。
3. 流れ藻は、潮岬沖 6 マイル付近の E 方向の潮目で 3 個を採集した。
4. モジャコの付着状況は、採集した 1 個の流れ藻にみられ、合計 4 尾であった。
5. モジャコのサイズ（FL）は、23～38mm（平均 29mm）であった。

・・・・・・

〔海況〕

4 月 7 日の関東東海海況速報（図 1）によると、黒潮は室戸岬～潮岬で大きく離岸、大王崎沖を北上していた。表面水温は、熊野灘では沿岸域は概ね 17～18℃台、沖合域は 19℃台、黒潮流域は 19～20℃台であった。

調査船「きのくに」による調査海域の表面水温は、17～19℃台であった。

〔流れ藻の分布状況〕

今回の調査では潮岬沖 6 マイル付近の E 方向の潮目で流れ藻 3 個を採集した（図 2、表 1）。その他の海域では流れ藻は殆ど目視出来なかった。

〔モジャコの付着状況と体長組成〕

今回の調査では採集した 1 個の流れ藻にモジャコの付着が確認できた。付着数は合計 4 尾であった。

魚体の大きさ（FL）は、23～38mm で平均 29mm であった（図 3）。採集した流れ藻の大きさは、1.0×1.0m～1.0×2.0m であった。

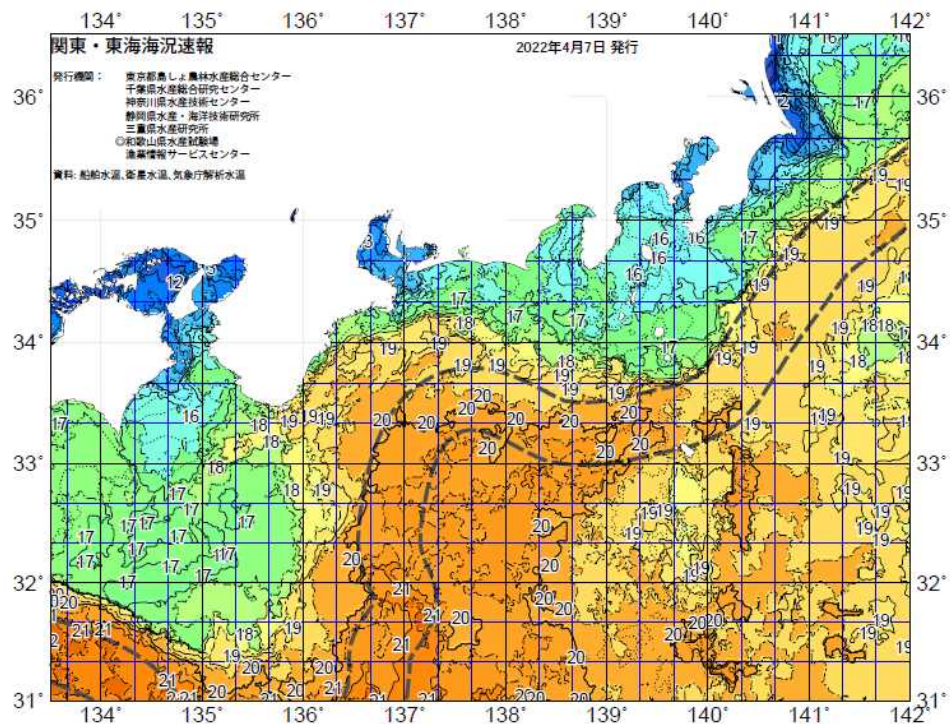


図1 2022年4月7日の関東東海海況図

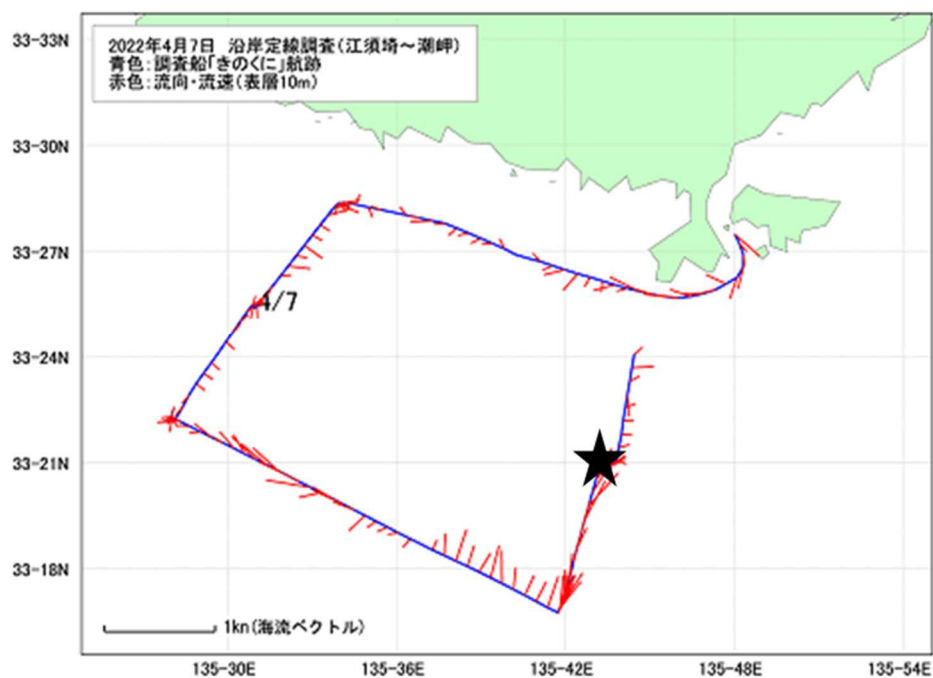


図2 2022年4月7日の調査航跡および表層（10m）の流向流速
★流れ藻の採集場所

表 1 流れ藻の採集状況 (2022/4/7)

No.	日	時間	緯度	経度	水温℃	魚種・個体数
1	4月7日	15:01	33° 20.8'N	135° 43.3'E	18.4	モジャコ4、メダイ3
2	4月7日	15:04	33° 20.8'N	135° 43.4'E	18.4	イシガキダイ1、オヤビッチャ属2、ニジギンボ1、ハナオコゼ3、メバル属1
3	4月7日	15:08	33° 20.9'N	135° 43.5'E	18.4	ハナオコゼ1、メジナ属3

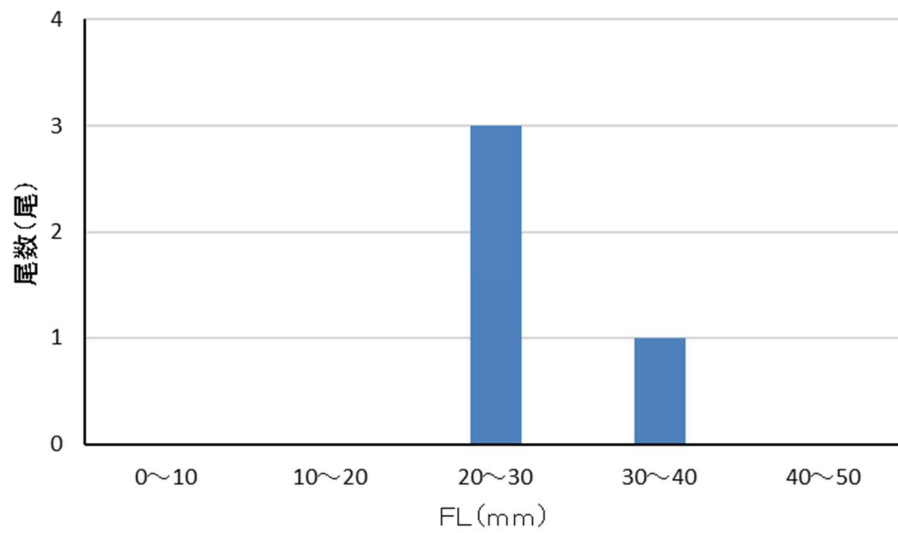


図 3 モジャコの FL 組成 (2022/4/7)

モジャコ調査速報 No.2

令和 4 年 4 月 12 日

和歌山県水産試験場

調査日：2022 年 4 月 8 日

調査船名：漁業調査船「きのくに」

調査海域：檜野崎沖（2～10 マイル）～駒崎沖（2～10 マイル）、沿岸定線調査

・・・・・・・・調査結果の特徴・・・・・・・・

1. 調査時の黒潮は、室戸岬～潮岬で大きく離岸、大王崎沖を北上していた。
2. 調査海域の表面水温は 18～20℃台であった。
3. 流れ藻は、檜野崎沖 10 マイル付近の NE-SW 方向の潮目で 2 個を採集した。
4. モジャコの付着状況は、採集した 2 個の流れ藻両方にみられ、合計 4 尾であった。
5. モジャコのサイズ（FL）は、21～33mm（平均 28mm）であった。

・・・・・・・・

[海況]

4 月 8 日の関東東海海況速報（図 1）によると、黒潮は室戸岬～潮岬で大きく離岸、大王崎沖を北上していた。表面水温は、熊野灘では沿岸域は概ね 18～19℃台、沖合域は 19～20℃台、黒潮流域は 20～21℃台であった。

調査船「きのくに」による調査海域の表面水温は、18～20℃台であった。

[流れ藻の分布状況]

今回の調査では檜野崎沖 10 マイル付近の NE-SW 方向の潮目で流れ藻 2 個を採集した（図 2、表 1）。檜野崎沖 6～10 マイルから駒崎沖 6～10 マイルにかけて、50cm 未満の小さな流れ藻が点在していた。

[モジャコの付着状況と体長組成]

今回の調査では採集した 2 個の流れ藻両方にモジャコの付着が確認できた。付着数は合計 4 尾であった。

魚体の大きさ（FL）は、21～33mm で平均 28mm であった（図 3）。採集した流れ藻の大きさは、どちらも 0.5～1.0m であった。

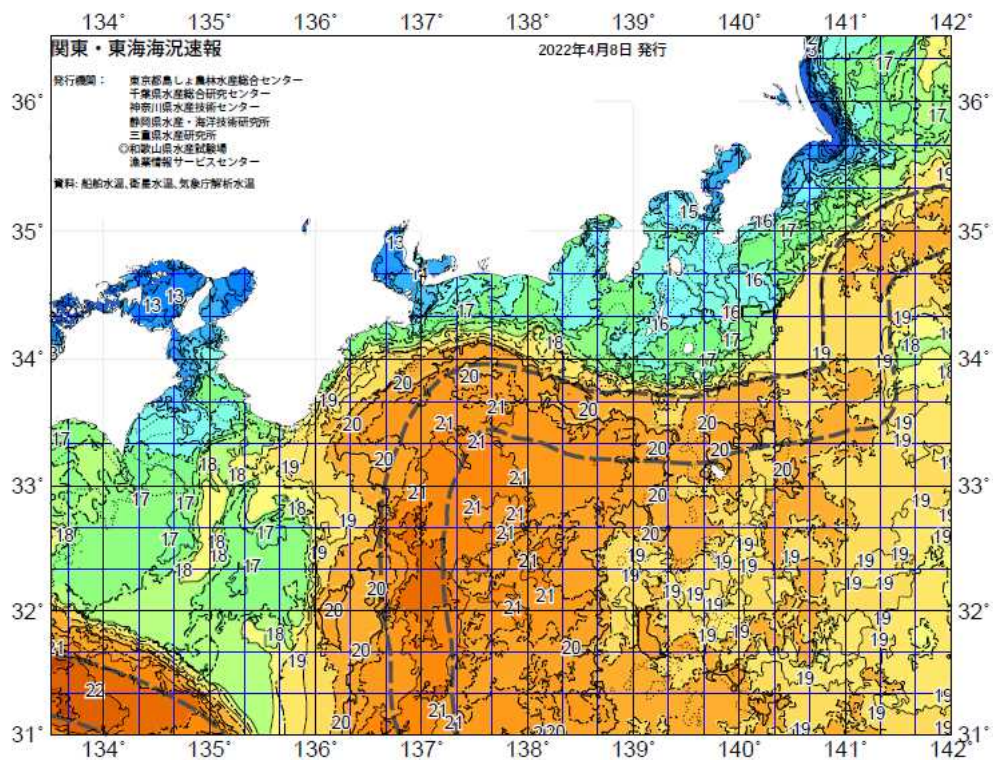


図1 2022年4月8日の関東東海海況図

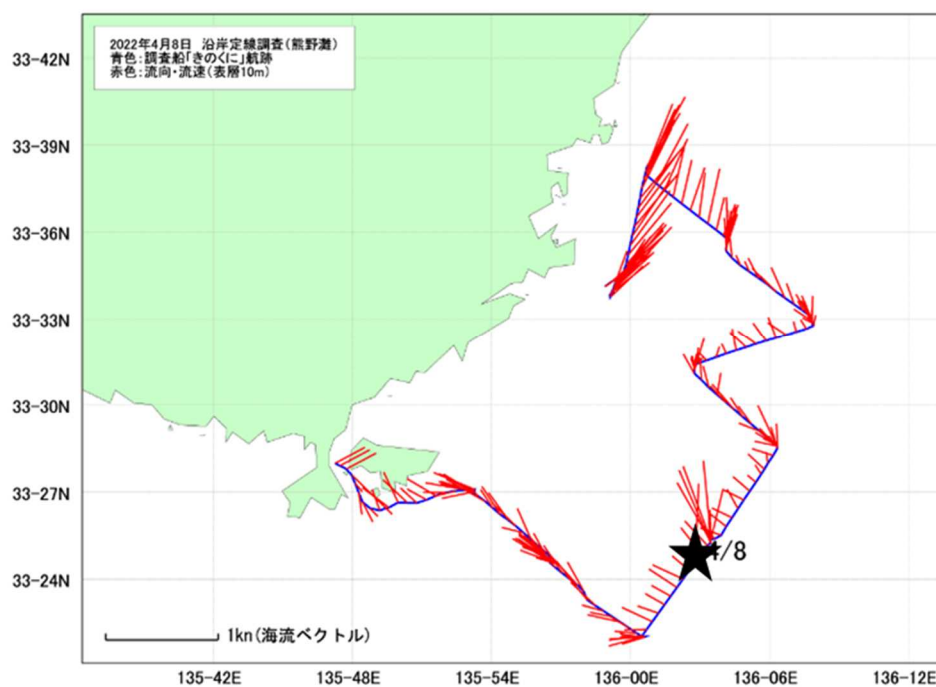


図2 2022年4月8日の調査航跡および表層(10m)の流向流速

★: 流れ藻の採集場所

表 1 流れ藻の採集状況 (2022/4/8)

No.	日	時間	緯度	経度	水温℃	魚種・個体数
1	4月8日	12:10	33° 25.3'N	136° 03.4'E	20.2	モジャコ2、オヤビッチャ属3、ダイコクサギフエ1、ハナオコゼ1
2	4月8日	12:14	33° 25.4'N	136° 03.5'E	20.2	モジャコ2、オヤビッチャ属3、ハナオコゼ1

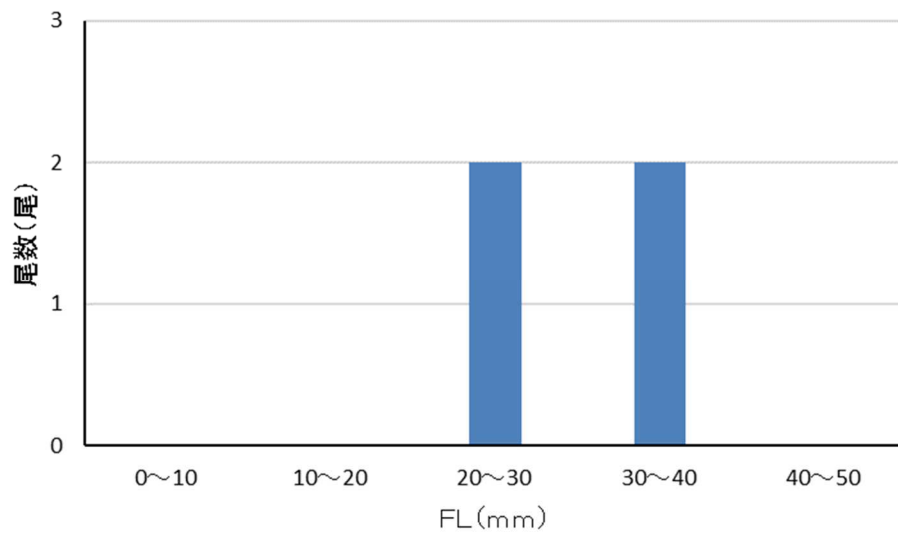


図 3 モジャコの FL 組成 (2022/4/8)

モジャコ調査速報 No.3

令和 4 年 4 月 13 日

和歌山県水産試験場

調査日：2022 年 4 月 11～12 日

調査船名：漁業調査船「きのくに」

調査の名称および海域：浅海定線調査、田辺湾～和歌浦の沿岸（2 マイル付近）

・・・・・・調査結果の特徴・・・・・・

1. 調査時の黒潮は、室戸岬～潮岬で大きく離岸、大王崎沖を北上していた。
2. 調査海域の表面水温は 14～19℃台であった。
3. 流れ藻は、すさみ町周参見沖 1 マイル付近および串本町和深沖 2 マイル付近で計 4 個を採集した。
4. モジャコは、採集した 4 個の流れ藻のうち 3 個に付着が見られ、付着数は合計 7 尾であった。
5. モジャコのサイズ（FL）は、16～38mm（平均 26mm）であった。

・・・・・・

〔海況〕

4 月 12 日の関東東海海況速報（図 1）によると、黒潮は室戸岬～潮岬で大きく離岸、大王崎沖を北上している。表面水温は、紀伊水道外域の沿岸は 18～19℃台、紀伊水道内の沿岸域は概ね 17℃台、黒潮流域は 21～22℃台であった。

調査船「きのくに」による調査海域の表面水温は、14～19℃台であった。

〔流れ藻の分布状況〕

今回の調査では、すさみ町周参見沖 1 マイル付近で流れ藻 2 個、串本町和深沖 2 マイル付近で流れ藻 2 個を採集した（図 2、表 1）。周参見沖 1 マイルでは、半径 50m の範囲内に約 20 個の流れ藻を確認した。また和深沖 2 マイルでは、NE-SW 方向に小型（50 cm 未満）の流れ藻が点在していた。

〔モジャコの付着状況と体長組成〕

今回の調査では、採集した 4 個の流れ藻のうち 3 個にモジャコの付着が確認できた。付着数は合計 7 尾であった。

魚体の大きさ（FL）は、16～38mm で平均 26mm であった（図 3）。モジャコの付着が見られた流れ藻の大きさは、50 cm 未満～1.0m であった。

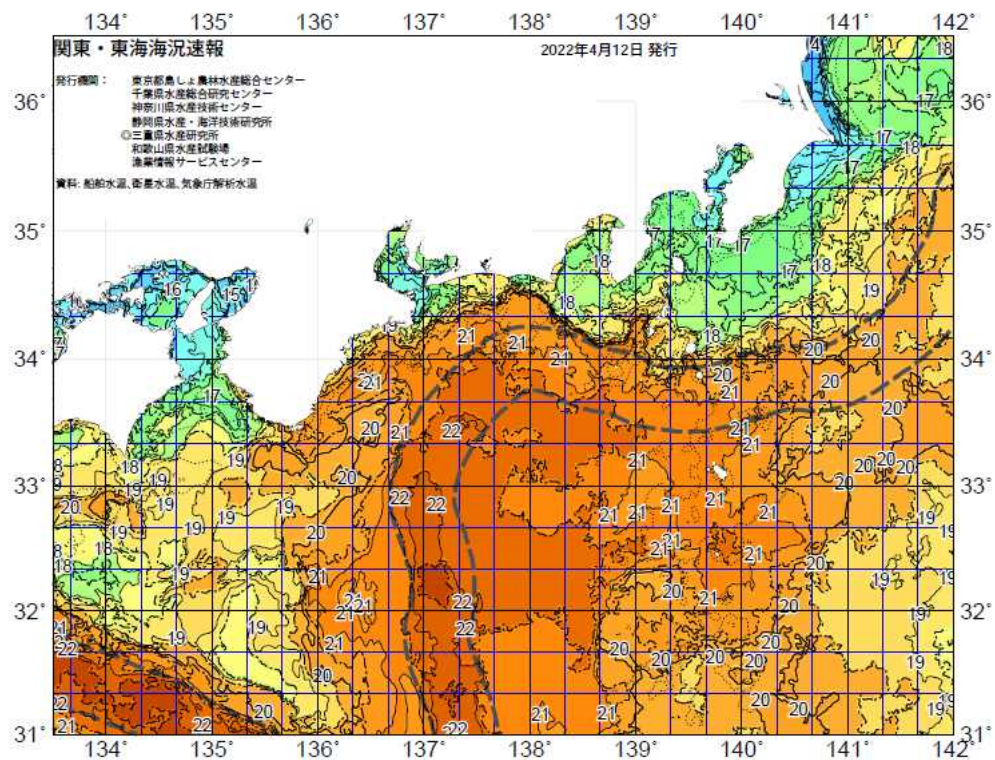


図1 2022年4月12日の関東東海海況図

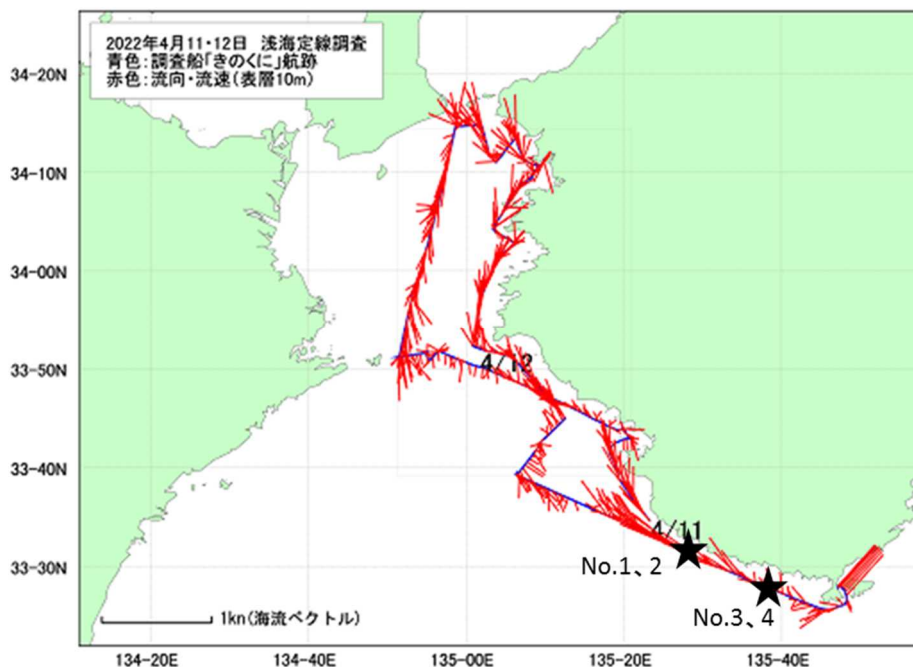


図2 2022年4月11～12日の調査航跡および表層（10m）の流向流速

★：流れ藻の採集場所

表 1 流れ藻の採集状況 (2022/4/12)

No.	日	時刻	緯度	経度	水温℃	流れ藻の大きさ※	魚種・個体数
1	4月12日	15:38	33° 31.6'N	135° 28.5'E	19.7	大	モジャコなし、イシガキダイ4、オヤビツチャ属2、メダイ8
2	4月12日	15:41	33° 31.7'N	135° 28.4'E	19.7	中	モジャコ2、オヤビツチャ属9、ニジキンホ1、ハナオコゼ1、メジナ属1、メダイ15
3	4月12日	16:38	33° 27.8'N	135° 38.9'E	20.5	小	モジャコ3
4	4月12日	16:43	33° 27.9'N	135° 38.9'E	20.0	小	モジャコ2、オヤビツチャ属8、ハナオコゼ1、メダイ49

※流れ藻の大きさ(目視)…大: 1m×1m以上、中: 50cm-1m、小: 50cm未満

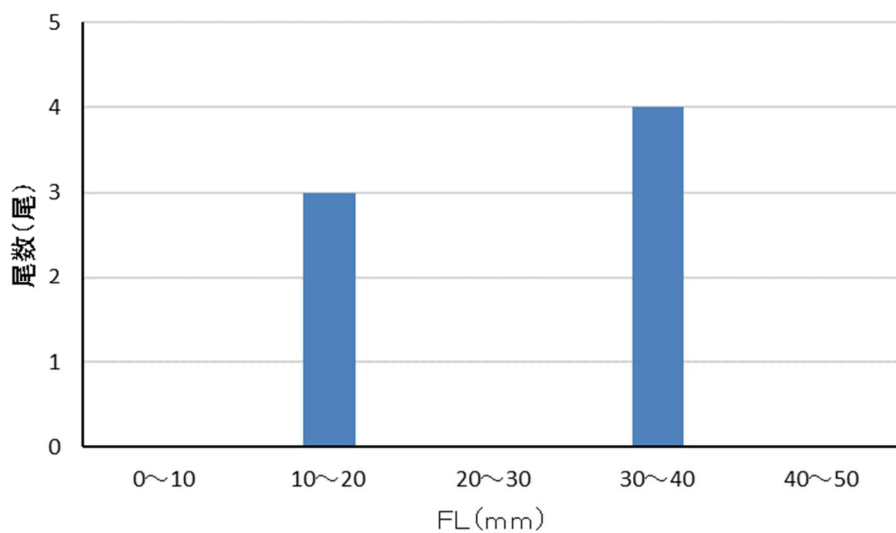


図 3 モジャコの FL 組成 (2022/4/12)